

国土交通省プレスリリース

## 自動車のバッテリー等の誤った取り付けによる火災にご注意！

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

平成23年6月14日  
自動車交通局

### 自動車のバッテリー等の誤った取り付けによる火災にご注意！

国土交通省では、自動車の不具合に対するユーザーの関心を高め、適切な使用や保守管理及び不具合発生時の適切な対応が促進されることを目的として、自動車メーカーから報告のあった自動車の不具合による事故・火災情報（以下、「事故・火災情報」という。）を公表しています。（<http://www.mlit.go.jp/jidosha/carinf/rcl/index.html>）

1．平成21年度の事故・火災情報の中で、多数報告のあったバッテリー付近から出火した車両火災について、平成22年度に技術的な調査・分析（委託先：(独)交通安全環境研究所）を行いました。国土交通省は、これらの調査結果を踏まえて、(社)日本自動車整備振興会連合会等の関係団体に対して、ユーザー等への注意喚起に関する協力依頼を行うとともに、国土交通省ホームページにおいても、ユーザー等への注意喚起情報を掲載しました。（<http://www.mlit.go.jp/jidosha/carinf/rcl/carsafety.html>）

#### ユーザー等への注意事項

バッテリー固定金具やバッテリー端子取付け用ナットは工具を使ってしっかりと締め付けて固定すること。

端子位置が逆、あるいは固定出来ないようなサイズのバッテリーを使用することの無いように、車両にあった型式のバッテリーを選定すること。

サイズの合わないヘッドランプバルブを使用しないこと。

後付け電装品の配線には適切なヒューズを取り付け、車体の縁端部や他の電装品と接触するような配線とならないように注意すること。

2．事故・火災情報については四半期ごとに公表していますが、今般、平成22年中に報告のあった事故・火災情報について、事故別、装置別及び原因別などの統計的なとりまとめを行いましたので公表します。

#### 添付資料

【資料1】車両火災に関する調査分析結果概要及び平成22年の事故・火災情報のとりまとめ概要

【資料2】バッテリー交換・後付け電装品取付にご注意！

#### お問い合わせ先

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室

TEL：(03)5253-8111（内線42351、42355）

## ・バッテリー付近からの出火による車両火災に関する調査・分析結果概要

平成 21 年度において自動車メーカーから国土交通省に報告された自動車の不具合の事故・火災情報（事故 171 件、火災 1,053 件）の中で、バッテリー付近から出火した車両火災の情報は 98 件であり、要因別ではバッテリー交換作業に起因すると推定される火災 28 件、後付け電装品を不適切に取り付けたと推定される火災 28 件と二つの要因によるものが最も多く発生している。このため、平成 22 年度に当該事象に着目して火災発生に至るメカニズムなどの調査を行い、ユーザー等への注意事項をとりまとめた。

### < 結果概要 >

#### 1. 事故・火災情報の調査・分析結果

バッテリー交換作業に起因すると推定される火災を分析した結果、バッテリー固定金具取付け用ナットやバッテリー端子取付け用ナットについての締め付けが不適切と推定される事例が多く、この他、端子位置が左右逆のバッテリーを搭載したことによるものと推定される事例等が見られた。また、後付け電装品を不適切に取り付けたと推定される火災を分析した結果、ランプのバルブの取付けや電線（ハーネス）の配線が不適切と推定される事例が多く、この他、オーディオ、リモコンエンジンスタータの電線（ハーネス）のショートによるもの等が見られた。

#### 2. 再現実験結果

バッテリー固定金具取付け用ナットの締め付けが不十分な場合、走行時の振動や衝撃又は旋回時の遠心力によって固定金具が移動し、バッテリーターミナルと接触してショートする時に発生する火花がターミナル部のグリースやカバーに引火、その後数十秒と短時間で火災に至る結果となった。

また、バッテリー端子取付け用ナットの締め付けが不十分な場合には、端子部からスパークが発生し、数分から数十分で火災に至るものがあることが確認された。ヘッドランプのバルブの中には点灯時に表面温度が約 540 ~ 640 となるものがあり、取付けが不適切な場合に正規の位置から外れたりして周囲の部品と接触して発煙や火災に至る結果となった。

電線（ハーネス）の配線が不適切と推定される事例には、ヒューズを使用せずにバッテリー端子に直接接続する場合は推定され、その場合であって車体の縁端部や他の電装品に電線（ハーネス）が接触して被覆が破れてショートすると 10 秒経たないうちに過熱して火災に至る結果となった。ヒューズを使用した場合、通常はヒューズが溶けて電流が遮断され火災に至らないが、ショートの仕方によっては流れる電流が小さくヒューズが溶けずに数十分後にショート箇所から火災に至る可能性があることが確認された。

## ・平成 22 年の事故・火災情報のとりまとめ概要

平成 22 年中に自動車メーカーから報告のあった事故・火災情報のとりまとめ概要は次のとおり。

事故・火災情報の件数は、1,202 件であり、その内訳は、事故 193 件（16.1%）、火災 1,009 件（83.9%）となっている。

車種（用途）別の事故・火災情報の上位は、乗用車 454 件（37.8%）、貨物車 379 件（31.5%）、軽乗用車 170 件（14.1%）の順となっている。

装置別の事故・火災情報の上位は、原動機 198 件（16.5%）、走行装置 87 件（7.2%）、制動装置 76 件（6.3%）の順となっている。

原因別の事故・火災情報の上位は、原因特定ができないもの 331 件（27.5%）、点検・整備に起因するもの 306 件（25.5%）、調査中のもの 183 件（15.2%）の順となっている。

## バッテリー交換・後付け電装品取付にご注意！

不適切なバッテリー交換作業や後付け電装品取付が原因と推定される車両火災が発生しています。

バッテリー交換作業及び後付け電装品の取付時の注意事項を確認しておきましょう。

### バッテリー交換及び後付け電装品取付 作業時の注意事項

バッテリー端子は工具でしっかり固定して下さい



車両にあった型式のバッテリーを使用して下さい



バッテリー固定金具は工具でしっかり固定して下さい



サイズの合わないヘッドランプバルブを使用しないこと。



後付け電装品の配線は車体とのショートに注意して下さい



後付け電装品には適切なヒューズを取り付けて下さい

